

(4月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
いちご類		5,209	98	5,441	711	104	770	-	-	栃木、福岡産中心の入荷となる。栃木産は作況不良で大きなピークはない見込み。福岡、佐賀産とも量的に不足感がある。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
すいか類		2,199	99	2,045	292	95	295	-	-	熊本、茨城産中心の入荷で全体の9割を占める。熊本産の春作すいかは4月下旬から増量し、5月中旬まで入荷は順調の見込み。小玉すいかの関東産は2月下旬～3月にかけての天候不良により、早期出荷は少なく4月いっぱい品薄感は続く。価格は消費低迷する中、走り商材の販売は厳しく軟調傾向。
ぶどう		79	105	76	887	100	1,078	-	-	山梨産中心の入荷となる。品種はデラウェア。作付け微減の中、加温の生育状況は良好で生育も概ね順調。初荷は4月16日頃の予定。超早期ものはLサイズ中心で、5月20日頃まで入荷する見込み。
みかん類		184	103	341	485	93	576	-	-	大分、愛知を中心にハウスみかんの入荷が始まる。重油高の影響は薄れ、生産拡大の動きが見られる。4月の入荷量は前年並からやや上回る見込み。全般的には潤沢傾向。消費環境が厳しい中、需要もまだ少ないため、価格は軟調傾向。
びわ		104	101	87	1,630	94	1,945	-	-	長崎産中心の入荷で全体の9割を占める。長崎産は作況は安定して不足感はない。販売は厳しく、価格は前年並～やや下回る見込み。